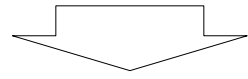


【時代の潮流変化】（全国計画素案）

- 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化の進展
- グローバル化の進展と東アジアの経済発展
- 情報通信技術の発達
- 安全・安心、環境や美しさ、文化に対する国民意識の高まり
- ライフスタイルの多様化、「公」の役割を果たす主体の成長



【中国圏の現状・課題】

- (1) 全国に先駆けた人口減少・高齢化の進展
- (2) 欧米に加えて拡大する東アジアとの経済交流
- (3) ブロック内での日帰り交流が困難な地域やデジタルデバイドの存在
- (4) 蓄積のあるものづくり産業と成長の乏しい都市型サービス産業
- (5) 衰退し集落の消滅が危惧される中山間地域
- (6) 中心市街地の空洞化などが懸念される都市地域
- (7) ブロック内格差を抱える中国圏
- (8) 水害や地震等に対する脆弱さを内包する国土
- (9) 地球温暖化や地域の水域環境等への対応
- (10) 基礎自治体の再編と生活に必要なサービスの確保
- (11) 「新たな公」を担う住民等の活動の活発化

【中国圏のポテンシャル】

(1) 東アジアや西日本における交流の歴史と地理的優位性

中国圏は、中国大陸・朝鮮半島などに近接している地理的優位性を背景に、東アジアと文化・経済に関する深い関わりを有していた。また、日本海及び瀬戸内海の海上交通並びに山陰道及び山陽道など陸上交通を使い、大陸や九州と奈良・京都・大坂などを結ぶ西日本の交通の要衝としての役割を担ってきた。

このため中国圏には、古代出雲文化など日本の歴史上、特に重要な文化が蓄積している。また、原爆ドーム、厳島神社、石見銀山遺跡という世界遺産を有している。

(2) 欧州の中規模国に匹敵する人口・経済力

中国圏の人口は約770万人、総生産は約29兆円（約2,700億ドル）であり、これはオーストリアやデンマーク等の欧州の中規模国に匹敵する。また、中国圏全体の域際収支はほぼ均衡しており、圏域全体で見ると経済的自立が可能なポテンシャルを有している。

(3) ものづくり産業の強みによる自立的発展の可能性

中国圏は、「オンリーワン企業」や「ナンバーワン企業」が多数立地するなど、ものづくり産業が臨海部を中心に集積し、移出を通じた域外からの所得獲得力は地方ブロックの中で抜きん出た強さを持っており、自立的な経済圏を形成する高いポテンシャルを有している。

(4) 分散する様々な規模の都市と豊かな自然の共存の可能性

中国圏は、様々な規模の都市が森林・里山等の豊かな自然と近接して分散的に存在しており、連携・交流が比較的容易な地域構造を形成している。

中国圏の目指すべき姿（将来像）

○地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏

中国圏は、古来、大陸文化の橋渡し役を果たすなど、交流を通じて文化・産業の両面にわたり各地で様々な発展をしてきた。それらを基盤とした新たな交流・連携により、中国圏全体の持続的発展を目指す。

- 多様な地域が連携した一体感のある中国圏の形成
- 隣接ブロックを含めた交流・連携による活力・魅力の向上
- 東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携
- 中国圏の持続的発展を支える多様な人材の育成・確保

○産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏

ものづくりを中心とした高度な産業集積や、農林水産物、伝統技術、観光資源などの幅広い地域資源を有する中国圏において、そのポテンシャルを活かし、環境問題等への対応を含めた、新たな挑戦により持続的な経済成長を目指す。

- 国際競争力のある産業の振興
- 地域の活力につながるサービス産業の振興
- 地域資源を活かした地域経済の活性化

○多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

日本海や瀬戸内海、中国山地などの変化に富んだ自然の中で、中山間地域と都市地域が一体的な生活圏を形成し、地域性に富む文化を育んできた中国圏において、多様で豊かな生活と仕事をともに楽しめる地域づくりを目指す。

- 中山間地域と都市地域の交流・連携等による生活サービス機能の確保
- 安全・安心な国土・地域づくりの推進
- 多様な主体が連携・協働した地域づくりの推進

【共通して持つべき視点】

- 環境面からの持続可能性の確保
- 地域間格差への配慮
- など

中国圏の将来像

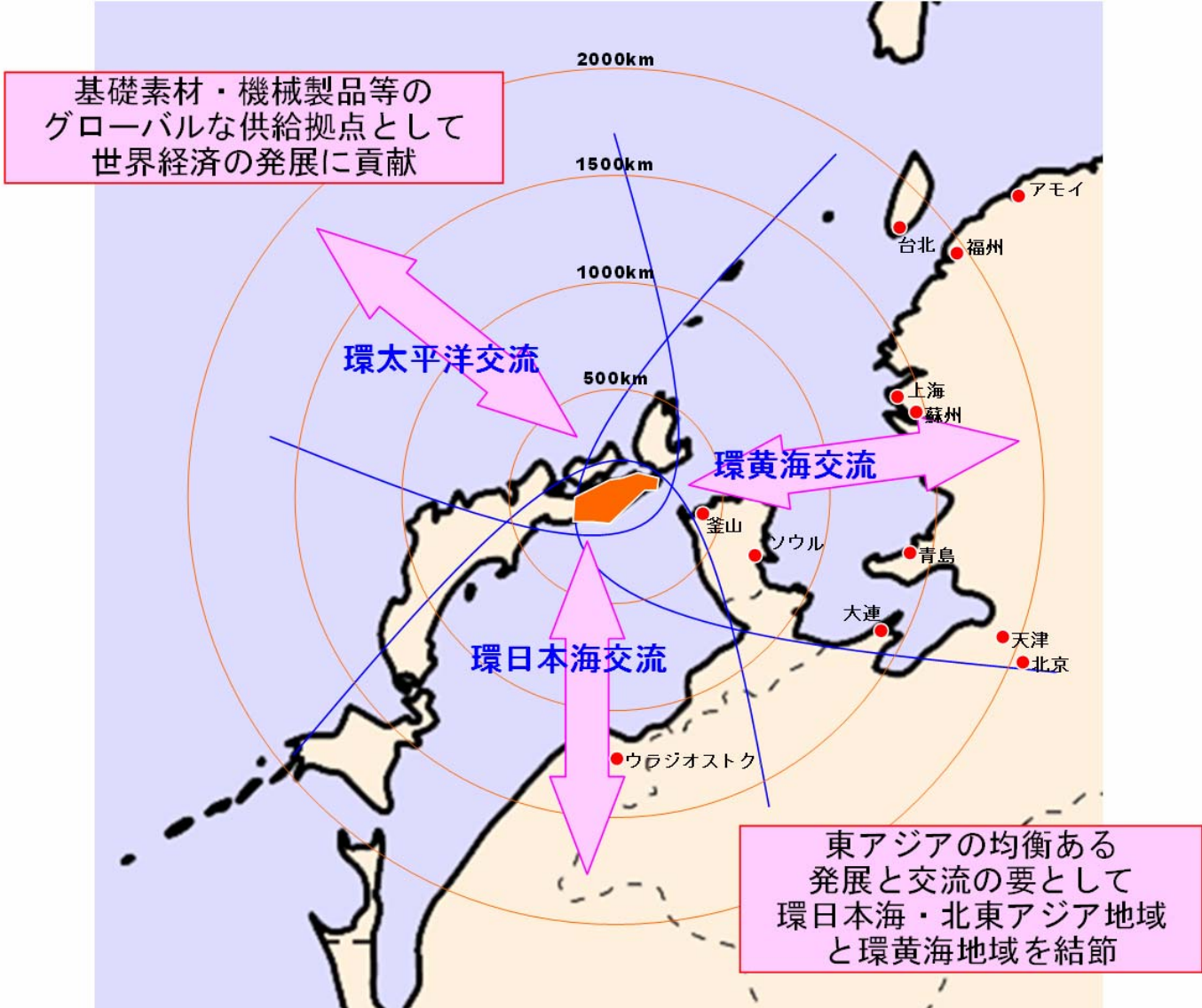
1. 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏

○多様な地域が連携した一体感のある中国圏の形成	中国圏の持続的な発展に向け、交通・高度情報通信ネットワークの充実等により、各地域の個性や魅力を活かし、山陰・山陽間をはじめとするブロック内の交流・連携を拡大し、広域的に一体感のある中国圏の形成を図る。
○隣接ブロックを含めた交流・連携による活力・魅力の向上	交流の大動脈である瀬戸内海や日本海等の海上交通機能や陸上の高速交通ネットワークを活用し、近畿・四国・九州ブロックを含む産業連携、文化交流、環境管理などを推進することにより中国圏の活力・魅力の向上を図る。 また、ブロック内外の各地域が連携し、世界遺産や瀬戸内海、日本海等の多様な観光資源を活かした広域観光やインバウンド観光の振興を図る。
○東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携	空港や港湾のグローバルゲート機能や各地域の拠点都市における国際交流機能を充実・強化し、東アジアをはじめとする世界との経済・文化交流を推し進めるとともに、国際的な人材交流などや東アジアの環境問題や災害復興支援・平和・医療などの分野で国際貢献の拡大を図る。
○中国圏の持続的な発展を支える多様な人材の育成・確保	中国圏の持続的な発展を支える人材について、ブロック内の大学等の高度な専門教育・研究機能を活用した人材育成や、ブロック内に人材が定着する環境の整備などを行うことにより、ものづくり産業を支える人材など中国圏の持続的な発展を支える人材の育成・確保を図る。

将来像を実現するための戦略的目標例

- ・各地域の歴史・文化などの個性・魅力を活かした地域間ネットワークの形成
- ・交通・高度情報通信ネットワークの充実
- ・隣接ブロックとの産業連携の推進
- ・瀬戸内海地域における「海の路」の構築
- ・広域観光やインバウンド観光の振興
- ・グローバルゲート機能の充実
 - （・圏域内外の空港の連携
 - ・日本海側の港湾を活用した交流機能の強化）
- ・国際交流・貢献の拡大
- ・産業を支える人材の確保・育成
- ・多様な人材の活用のための環境整備

○東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携のイメージ



中国圏の将来像

2. 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏

○国際競争力のある産業の振興	ものづくり産業を中心とした地域の産業集積を活かし、産学官や企業間の広域連携、戦略的な企業誘致を促進することにより、企業の競争力の向上や新技術・新産業の創出・展開を図る。また、国際的な産業競争力を高めるための国際物流の効率化や国際競争力を保持するエネルギー・環境対策の推進を図る。
○地域の活力につながるサービス産業の振興	中国圏全体の経済的自立性を高めるため、都市型サービス産業やIT・コンテンツ産業等のサービス産業の振興を図る。
○地域資源を活かした地域経済の活性化	地域の歴史・文化・自然に育まれた農林水産物、伝統技術、観光資源等の地域資源の活用や、農林水産業の高度化・農商工連携などにより、地域産業の高度化・新事業の展開を進めることにより、地域外から所得獲得できる産業の振興を図る

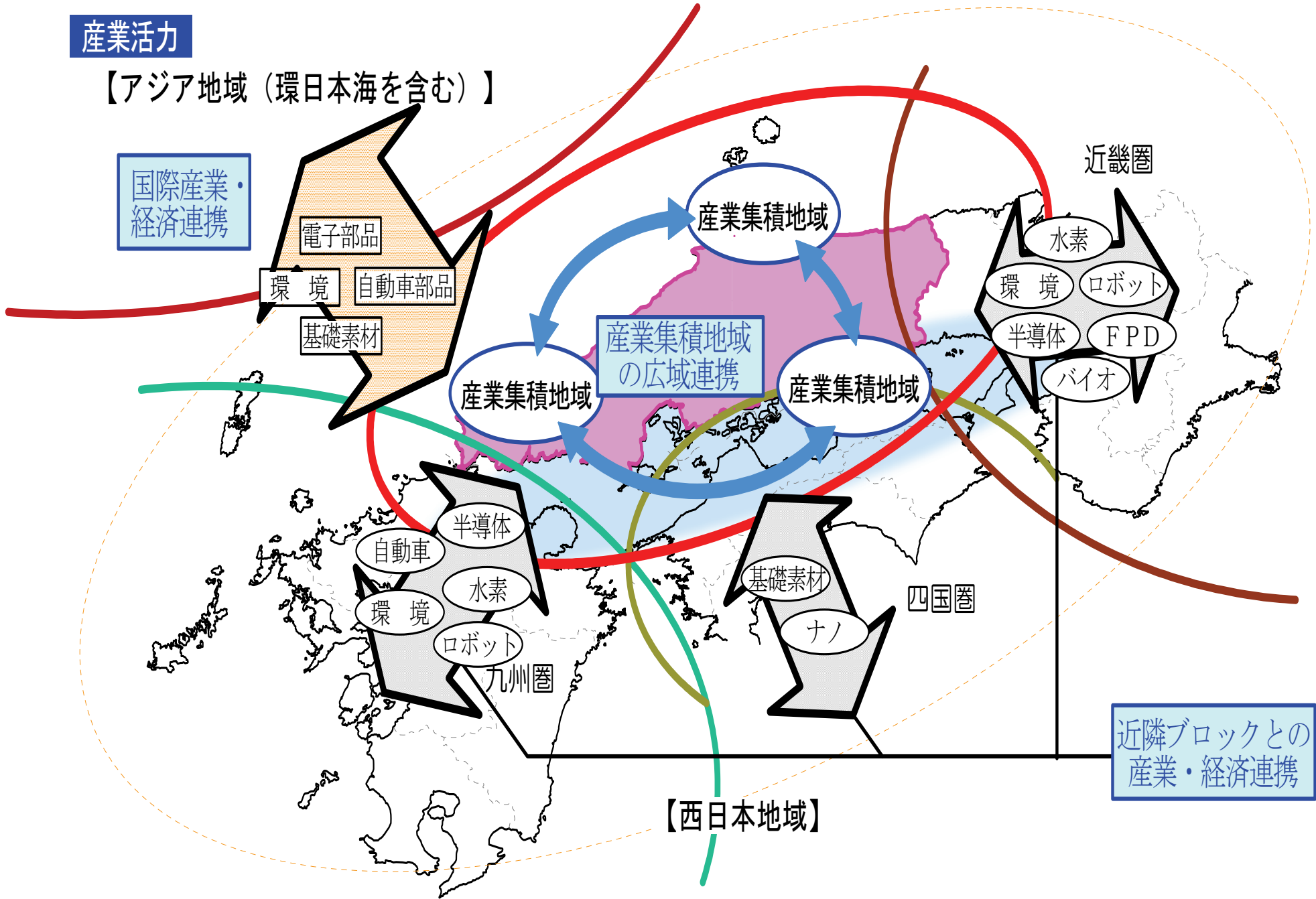
将来像を実現するための戦略的目標例

- ・基幹産業等の国際競争力強化と、戦略な企業誘致、産業集積を活かした新たな産業創出
- ・国際物流の効率化のための物流基盤の整備
- ・産業の国際競争力を保持するエネルギー・環境対策の推進
- ・都市型サービス産業の高度化および生産性の向上
- ・高次都市サービス機能を提供する拠点都市の環境整備
- ・歴史・文化・自然を活かした地域資源のブランドの確立
- ・地域の伝統技術等を活かした域外所得獲得型の産業の振興
- ・農林水産業の農商工連携による高度化など新たな事業の展開

○国際競争力のある産業の振興のイメージ

産業活力

【アジア地域（環日本海を含む）】



中国圏の将来像

3. 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

○中山間地域と都市地域の交流・連携等による生活サービス機能の確保	中山間地域と都市地域のそれぞれの強み・役割を活かした相互補完関係を構築し、両地域の結びつきをさらに深めることにより一体的な生活圏の形成を図る。中山間地域等においては、人口減少が進む中、医療・福祉などの生活サービス機能の維持を前提として、地域の実情に応じて機能の集約などにより、その確保を図る。
○安全・安心な国土・地域づくりの推進	安全・安心な生活の基盤として、災害に強い国土・地域基盤の確保や自然環境の保全・管理の充実を図る。
○多様な主体が連携・協働した地域づくりの推進	広域化する行政や民間の企業によるサービス提供の限界・効率の低下を補い、地域のニーズにきめ細かく対応した生活支援サービスの供給や魅力ある地域づくりを実現するため、住民やNPO、企業、行政の協働による持続可能な地域経営の仕組みの構築を図る。

将来像を実現するための戦略的目標例

- ・地域の強み・役割を活かした相互の機能補完
- ・生活圏における拠点の整備(中心市街地活性化等)
- ・医療・福祉機能の充実・確保
- ・災害に強い国土・地域基盤の確保
- ・中山間地域等の地域環境の保全・管理の充実
- ・持続可能な地域経営の仕組みの構築
- ・地域を支える人材の育成・確保

○中山間地域と都市地域の交流・連携等による生活サービス機能の確保のイメージ

